

企業オペレーションの再創造

オペレーションの最適化により
新たな領域でパフォーマンスを発揮する方法

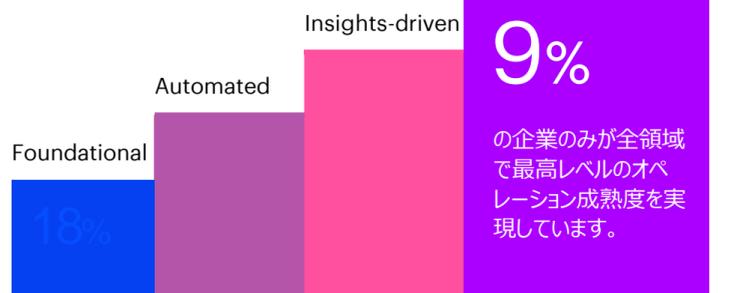
少数のオペレーション・リインベンターのみが企業オペレーションの再創造を実現しています

アクセンチュアは、12 か国、15 業界における 1,700 人の経営幹部 (72% がCクラス) を対象に調査を実施しました。

オペレーションの成熟度が高いほど、より優れた企業のパフォーマンスを実現しています。

オペレーション・リインベンターとオペレーションの成熟度が低い組織との差は拡大する傾向にあります。

オペレーション成熟度：4つのレベル



9%
の企業のみが全領域で最高レベルのオペレーション成熟度を実現しています。

9%

の企業(オペレーション・リインベンター)のみが全領域で最高レベルのオペレーション成熟度を実現しており、全方位型の価値(360°バリュー)を創出する独自の能力を保持しています(2021年の7%から増加)

18%

の企業が、成熟度の最下層にとどまり、オペレーションの最適化を実現できていません。

オペレーション・リインベンターは全方位型の価値(360°バリュー)創出しています。

1.4倍

高い営業利益率(EBIT)

2.2倍

株主利益の増加(3年)

42%

より早いイノベーションの創出スピード

34%

より低いエネルギー消費量と温室効果ガス排出量

30%

より高い顧客エンゲージメント

25%

ワークフォース内の女性とマイノリティへの機会平等を改善

19%

良い人材マネジメントプログラムを促進し、より高い従業員エンゲージメント

オペレーションを改革する5つの方法

01

全方位型の価値(360°バリュー)を創出する

全方位で企業の価値創出を推進

60%

オペレーション・リインベンターは、拠点における温室効果ガス排出量、廃棄物処理量、資源循環などを追跡するプロセスやプラットフォームを導入しています。

02

データに基づく決断力を磨く

明確なデータ戦略を活用

90%

オペレーション・リインベンターは、ビジネス戦略に沿ったデータ戦略を策定し、一元的かつ安全なデータレイクを有することで、企業全体でのデータに基づく意思決定を実現しています。

03

業務プロセスの最適化を図る

アウトサイド・イン・アプローチで業務プロセスを改善

75%

オペレーション・リインベンターは社内外のベンチマークだけでなく、すべてのビジネスプロセスにプロセスマインニングを導入し、業界最高レベルの業績を実現しています。

04

AI・自動化がもたらすエクスペリエンスを身近にする

エコシステムパートナーとともに、自動化の新しいユースケースを模索

71%

オペレーション・リインベンターは顧客、従業員、パートナー企業へのエクスペリエンスを提供するソリューションとして、AIの活用と自動化を導入しています。

05

労働環境に俊敏性を備える

ハイパーパーソナライズされた従業員体験を提供

92%

オペレーション・リインベンターは、あらゆる業務プロセスにおいて、機械が人間の仕事を補填し、従業員間でのコラボレーションや横断的な従業員の移動を促すアジャイルな労働環境を提供しています。